

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12243

特別展開催事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	特別展開催事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	市民等への歴史・文化へ意識の向上を図ること目的と実施することで、入館者増加へのつなげる。		地域に密着したテーマや和歌山に関連するテーマを年度ごとに選び、展覧会を開催することにより、市民等への歴史・文化へ意識の向上を図る。		
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	加太淡嶋神社に関する展覧会を開催する。	表千家と紀州藩に関する展覧会を開催する。	葛城修験に関する展覧会を開催する。	和歌の聖地・和歌の浦の歴史が始まり1300年の節目に、和歌の浦に関する展覧会を開催する。	和歌山に関連するテーマの展覧会を開催する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,163	3,064	3,786	3,113	4,627	4,246	5,202	0	5,202	0
伸び率(%)	10%	29.7%	19.7%	1.6%	22.2%	36.4%	12.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,887	6,594	3,270	4,827	6,050	6,050	4,872	0	4,872
	正規職員以外	257	514	500	942	954	954	954	0	954
	小計	5,144	7,108	3,770	5,769	7,004	7,004	5,826	0	5,826
国庫支出金	983	1,203	1,286	1,447	1,697	2,101	2,591	0	2,591	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,180	447	1,150	858	1,210	1,268	1,300	0	1,300	0
一般財源(税等)	1,000	1,414	1,350	808	1,720	877	1,311	0	1,311	0
所要人数(人)	正規職員	0.63	0.85	0.42	0.62	0.77	0.77	0.62	0.00	0.62
	正規職員以外	0.05	0.10	0.10	0.32	0.32	0.32	0.32	0.00	0.32
主な予算内訳	報償金228千円 印刷製本費1,990千円 展示その他委託料2,175千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
特別展開催日数	日	目標値		32	32	32	32	32
		実績値		54	25	37		
		達成度(%)		168.8%	78.1%	115.6%	%	%
特別展入館者数	人	目標値		2500	2500	2500	2500	2500
		実績値		2588	1817	1654		
		達成度(%)		103.5%	72.7%	66.2%	%	%
		目標値						
成果指標		実績値						
		達成度(%)						
		目標値						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山の歴史に関する資料を県内外からも集めて、日頃見ることができない資料を展示する事業で、市民文化の向上に資する。
見直し・改善内容	現在の環境で最大限、市民のニーズを反映した展覧会の開催を検討していく必要がある。